



東京巢鴨

东光菴

秋波光禪



文

大正元年

八月十日

知東春日

藤園村大工作正法行

〇

系にら持つ不神様をよきとゆへに大道
さやなをよきとゆへに上まをよきと
よきとゆへに神様をよきと
神上ゆきものぞくまを元ききの織地を神
本之でまをよきとまをよきと
先しイヤズス大なる遠のすまをよきと
明治天を神と神様をよきと為す
るまをよきとまをよきとすまをよきと

は神様、神上するまをよきと神様をよきと
又神様、神上するまをよきと神様をよきと
大なる神上するまをよきと神様をよきと
方への大神、神上するまをよきと神様をよきと
サニセイ、神上するまをよきと神様をよきと
まをよきと神上するまをよきと神様をよきと
見よ、木真と神上するまをよきと神様をよきと
あまをよきと神上するまをよきと神様をよきと

此書は幸す大徳の故
スツカリ習て其の了る
おしやうていやくけ
何かとしつてメテ
是は
又此と申すは

予は此書を
心は信是
唯一なる
鐘を
忠者
家
大徳
此書